

茶の推奨品種「さえみどり」

農業研究センター 茶業研究所

研究のねらい

本県では、早生品種として「ゆたかみどり」「おおいわせ」などが普及している。しかし、これらの早生品種は、「やぶきた」に比較して、新芽の葉色が黄緑色であるため品質面がやや難点であった。このため、早生で品質良好な品種の選定を行った。

研究の成果

1. 来歴

旧系統名「枕崎9号」

「やぶきた」を母とし、早生で良質の「あさつゆ」を父とした人工交配品種である。

2. 品種特性

- (1) 摘採期は、「やぶきた」より4日早い早生種である。
- (2) 品質は良好で、「やぶきた」とほぼ同等の品質であり、「ゆたかみどり」よりは明らかに優れる。特に、外観は色沢が鮮緑色で冴えがあり、早生品種の欠点であった黄緑色傾向が大幅に改善されている。
- (3) 収量は「やぶきた」より多収で、特に、幼木期より成木期になるに従って収量の増加が著しい。
- (4) 挿し木発根性が良く、育苗が容易である。樹姿は中間型で株張りが良いため、幼木期の生育は「やぶきた」と同等である。

3. 普及地域

早場地帯で晩霜害を受けない所、または、防霜施設設置園

普及上の留意点

- (1) 早生品種であるため晩霜害を受けやすく、また、その後の再生もやや劣るので晩霜害が発生するところには導入しない。
- (2) 輪班病に弱いので「やぶきた」と同様の防除を行うとともに、春先の赤焼病にも注意する。

表1 一般特性

品種名	早晩性	樹姿	樹勢	耐寒性	炭そ病	輪斑病	裂傷型凍害	収量性	製茶品質
さえみどり	早生	中間	やや強	やや強	中	弱	やや強	多	良
ゆたかみどり	早生	中間	強	やや強	強	中	中	多	中
やぶきた(標)	中生	やや直	やや強	やや強	弱	弱	やや強	やや多	良

表2 育成地における摘採期、生葉収量、製茶品質の成績

品種名	摘採期	生葉収量(指数)kg / 10a				製茶品質		
		一番茶	二番茶	三番茶	合計	一番茶	二番茶	三番茶
さえみどり	4月18日	531 (140)	297 (157)	279 (145)	1107 (145)	41.8	35.5	37.2
ゆたかみどり	4月15日	473 (125)	243 (129)	232 (120)	948 (125)	32.0	29.5	32.5
やぶきた(標)	4月22日	379 (100)	189 (100)	193 (100)	761 (100)	38.3	34.7	35.5

注)摘採期は昭和56年から平成元年までの平均、収量及び品質は成園化した6～9年生の平均、品質は50点満点で評価。